

令和4年度 環境保全報告書 株式会社 増田製粉所

① 2022年度取組目標・計画実施状況〔第3次兵庫県地球温暖化防止推進計画に準ずる〕

ア. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

CO2排出状況

項目	2005年度	2019年	2020年	2021年	2022年
電力(tCO2)	3,084	3,021	2,891	3,236	2,746
総排出量	3,570	3,126	3,059	3,413	2,916

●エネルギー使用量・原単位 推移

項目		2015年	2019年	2020年	2021年	2022年
挽砕量	(千t)	66	70	70	74	78
電力	電力(千kWh)	8,311	8,528	8,435	8,871	9,183
(工場)	原単位(千kWh/千t)	126	122	121	120	117

② 公害防止対策に係る報告

目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目標項目	目標達成状況	目標達成のために講ずる措置対策
大気汚染防止対策 ◆法令等の基準の遵守	法令等の遵守・確認の結果問題はなかった。	
水質汚濁防止対策 ◆公共用水域の環境保全	法令等の遵守・確認の結果問題はなかった。	◆下水道法及び神戸市下水道条例等の遵守。
騒音防止対策 ◆法令等の基準の遵守	騒音にかかる基準を測定の結果が基準以下であった。	◆法令等の基準遵守の確認。 ◆基準を遵守するために必要な対策を講ずる。具体的には、発生源対策として、防音カバーの設置、吸音材の設置、低騒音型の施設への更新、建物等による対策として、防音壁の設置、扉・窓の防音施工等を実施する。
振動防止対策 ◆法令等の基準の遵守	法令等の遵守・確認の結果問題はなかった。	◆法令等の基準遵守の確認。 ◆基準を遵守するために必要な対策を講ずる。具体的には、発生源対策として、弾性支持、防振材料の採用等を実施する。
悪臭防止対策 ◆法令等の基準の遵守	法令等の遵守・確認の結果問題はなかった。	◆法令等の基準遵守の確認。 ◆基準を遵守するために必要な対策を講ずる。具体的には、吸着・燃焼等の脱臭装置の設置、建屋又は悪臭発生工程の密閉化、製造工程の改善等を行う。
土壌汚染対策 ◆法令等の基準の遵守	法令等の遵守・確認の結果問題はなかった。	
産業廃棄物対策 ◆法令等の規制の遵守	法令等に定める規制のとおりに行った。	◆法令等に定める産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守し、法定の記録・報告を実施する。

③ 地球温暖化対策に係る報告

ア. 特定物質排出抑制措置の結果及び評価(排出抑制目標の達成状況)

特定物質	基準年度 排出量 (2005年度) a	現況 排出量 2022年度 b	2023年度	
			抑制目標量 c	達成率 %
二酸化炭素	0.05552	0.03727	0.04633	199%

備考: 達成率(%) = {(a)-(b)} / {(a)-(c)} × 100

イ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1		節電	省電力電灯切替	交換時期切替	全体の約70%LED管に切り替え済み
		燃料使用量の削減	冷暖房の適正化	夏季:28℃ 冬季:18℃	実施率100%
2	特定フロン等使用量の削減	設備更新時に特定フロン非使用設備を導入		新規導入時	設備更新なし
		特定フロン等使用機器廃棄時の適正処理		廃棄時	廃棄なし

④ 公害防止対策・地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

2022年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	コピー用紙の使用削減	両面コピーの徹底	徹底	概ね実施
			ミスコピー紙の再利用	徹底	概ね実施
		廃棄物発生量の削減	ペーパーレス化の推進	紙使用量を10%削減	概ね実施
			分別再資源化の推進	徹底	概ね実施
2	事業所での再生製品等の使用	再生紙の使用促進	コピー用紙等の再生紙利用	100%	再生紙使用品を採用
		プリンター・トナーカートリッジの再利用	—	取替後納入業者に返品	実施率100%
3	自動車対策	マイカー通勤の抑制	—	全廃	実施率100%
		アイドリングストップの推進	社内規定	徹底	概ね実施
		公共交通機関の利用	社内規定	可能な限り公共交通機関を利用	概ね実施
		小型車の利用	—	なるべく小型車を利用	概ね実施
		天ガス自動車 ハイブリッド自動車などの導入	—		現在合計6台保有
4	特定フロン等使用量の削減	設備更新時に特定フロン非使用設備を導入		新規導入時	設備更新なし
		特定フロン等使用機器廃棄時の適正処理		廃棄時	今年度なし